

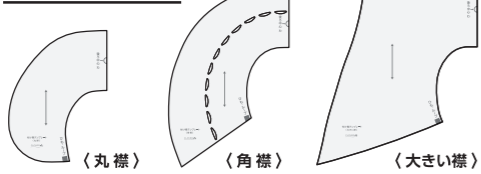
# 付け襟テンプレート

57-385/386/387

## 使い方説明書

この説明書は、57-385/386/387 付け襟テンプレート (丸襟)・(角襟)・(大きい襟) の共通説明書です。

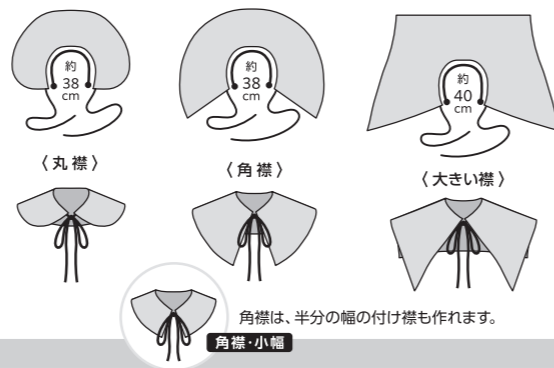
### テンプレートの形



## 仕上がりのイメージ

🌀 : 首まわり

首まわりのサイズ: (丸襟) 約38cm、(角襟) 約38cm、(大きい襟) 約40cm



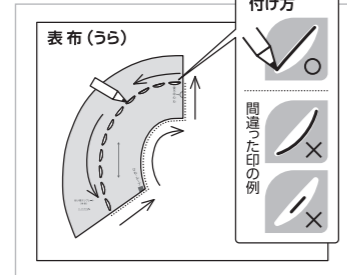
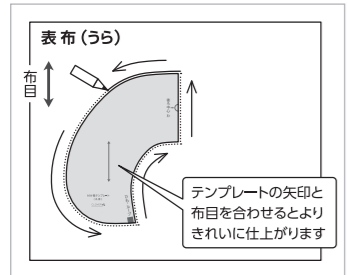
角襟は、半分の幅の付け襟も作れます。

## 基本的付け襟の作り方

基本的付け襟の作り方を丸襟のテンプレートで説明していますが、他の形の付け襟テンプレートでも作り方は同じです。

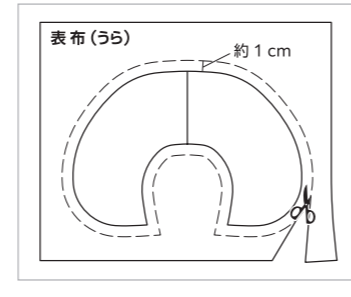
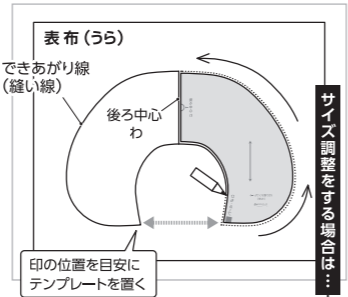
**1** 表布を裏向けにし、襟にしたい部分にテンプレートを置き、テンプレートの縁に沿って一周ぐるりと印を付けます。印を描くときは、テンプレートが浮かないように軽く手を添えてください。

**[memo]** 角襟を小幅で作るときは、テンプレートの穴の部分に印を付けます。



**2** 次に、「後ろ中心わ」を中心にテンプレートを裏返し「後ろ中心わ」の辺を合わせて置き、**1**と同様に印を付けます。**1**・**2**で付けた印が「縫い線」になります。(※縫い線に「後ろ中心わ」の線は含みません。)

**3** 「縫い線」の約1cm外側で表布を裁断します(1cmはぬいしろ分)。(ぬいしろは、裏布と縫い合わせた後で約7mmに切り揃えます。)

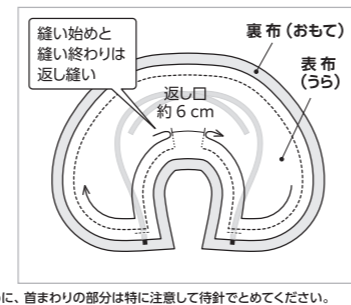
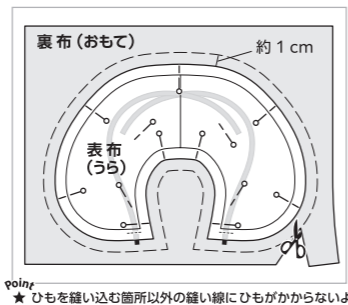
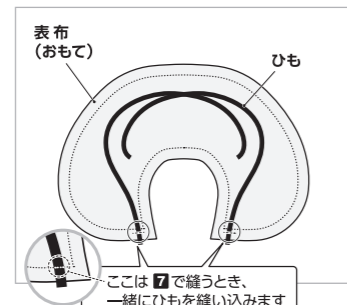
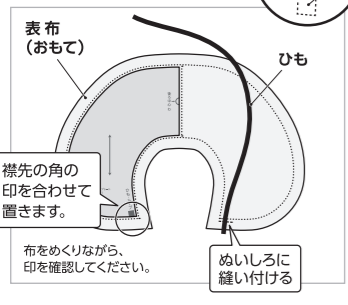


**4** 表布を表に向け、裏に付けた印に合わせてテンプレートを置きます。テンプレートの「ひも・ループ」のマークに合わせて、結ぶ用のひもをぬいしろに縫い付けます。

**5** 左右両方のひもを縫い付けたら、表布の縫い線にかからないようにひもを配置します。縫い合わせる時にじやまにならないように、なるべく厚みが出ないように整えましょう。

**6** 裏布を表向きにし、上から表布を中表に重ねて、表布の約1cm外側で縫いずれが起こりやすいので大きめに切る裏布を裁断します。

**7** 首まわりの後ろ中心あたりを約6cm(返し口)残して縫い合わせます。

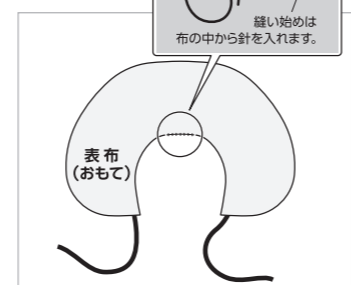
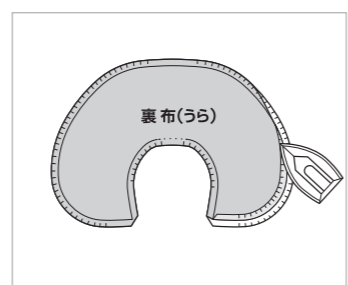
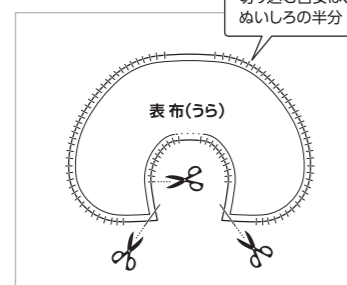
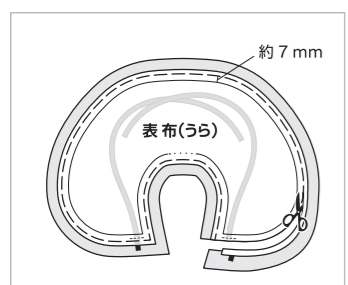


**8** 縫い合わせた表布と裏布のぬいしろを約7mmに切り揃えます。(※厚手の生地を使用している場合は、ぬいしろを少し多めの8mm程度に切り揃えます。)

**9** 切り揃えたら、カーブ部分のぬいしろに、5~6mmごとに切り込みを入れ、角の部分切り落とします。表布と裏布を重ねて、丁寧に切り込みを入れてください。縫い目まで切らないように注意しましょう。

**10** 裏布側に向け、アイロンでぬいしろを開き、**7**で縫い残しておいた「返し口」から、襟を表に戻します。「返し口」からへらなどを差し入れて、カーブ部分や角を整えましょう。

**11** 縫い残していた「返し口」を「コの字まつり」でとじ、最後にアイロンで整えたら、できあがり。



## 基本的付け襟

この説明書では、基本的付け襟の作り方を中心に説明します。

基本的付け襟とは、襟部分を表布と裏布の2枚で作リ、リボンなどのひもで結んで留めるタイプの付け襟です。首まわりの長さを調節できるので、サイズを気にせず作れます。襟本体の首まわりを大きくしたい場合は、作り方アレンジ例の [襟のサイズ調整] を参考にしてください。

**材料** (基本的付け襟) 表布…1枚、裏布…1枚、リボンなどのひも…約30~50cm×2本

必要な布の大きさの目安 (表布・裏布各1枚ずつ準備してください)

・布の大きさは、襟本体(サイズ調整なし)に必要な大きさの目安です。布柄に合わせて作る場合や襟本体の首まわりを大きくして作る場合は、余裕をもって布を準備してください。また、表布をたて目、裏布をバイアス方向でとると、よりきれいに仕上がります。

・使用する布地によっては、接着芯を布の裏側に貼ってください。

丸襟	角襟	角襟・小幅	大きい襟
たて 約32cm よこ 約48cm	たて 約42cm よこ 約56cm	たて 約32cm よこ 約42cm	たて 約44cm よこ 約72cm
布をバイアスでとる場合は、約43cm角	布をバイアスでとる場合は、約56cm角	布をバイアスでとる場合は、約42cm角	布をバイアスでとる場合は、約72cm角

## 作り方アレンジ例

### A. 付け襟の留め方をボタンにする

※ [作る前に注意] を必ずチェックしてください

付け襟の首元をひもの代わりにボタンとループひもで留めます。しっかり留まり、着脱も手早くできます。

### B. 付け襟の留め方をホックにする

※ [作る前に注意] を必ずチェックしてください

付け襟の首元をひもの代わりにスプリングホックで留めます。留めは少しが簡単で、すっきりとした仕上がりになります。

### C. 襟部分を一枚布で作る

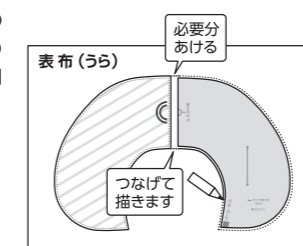
レース地などで作りたい場合は、裏布を付けず、1枚の布で仕上げるのがおすすめです。布端をレーステープやバイアステープで処理をします。首まわりのレーステープやバイアステープは、左右に50cmずつ余分に足しておく、結んで留めるときのひもの代わりにできます。

**作る前に注意** AとBの場合は、付け襟を着ける時に首まわりの長さが調節できません。

人によりサイズやお好みの着け心地が異なりますので、事前に首の付け根まわりの長さを測り、付け襟の首まわりの長さを足したい場合は、襟のサイズを調整してください。

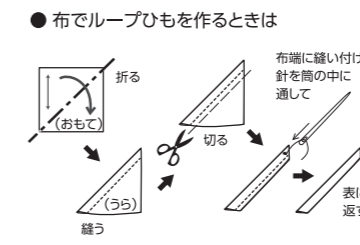
### [襟のサイズ調整]

基本的作り方 **2** でテンプレートを裏返した後、「後ろ中心わ」の印の位置から、足したい長さだけ離してテンプレートを置き、印を付けてください。(3cm程度までが形が崩れず、おすすめです。)



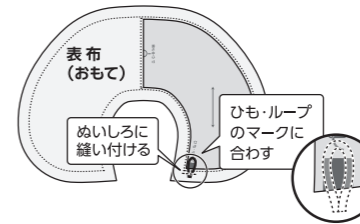
### 作り方 A. 留め方をボタンにする場合

- 事前に首まわりのサイズを確認し、基本的作り方 **1**~**3**と同様に、襟を作ります。※サイズ調整が必要な場合は、**2**でサイズを調整してください。
- 基本的作り方 **4** で付けるひもの代わりにループを縫い付けます。ループの端がぬいしろ側になるようにして、ひもと同じように表布(おもて)のぬいしろ部分に縫い付けましょう。
- 基本的作り方 **6**~**11**と同様にして襟が仕上がったら、**4**で付けたループに合わせて裏布側にボタンを縫い付けて、できあがり。



### 作り方 B. 留め方をホックにする場合

- 事前に首まわりのサイズを確認し、基本的作り方 **1**~**3**と同様に、襟を作ります。※サイズ調整が必要な場合は、**2**でサイズを調整してください。
- 基本的作り方 **4** でひもを付けず、**6**に進んで襟を仕上げていきます。
- 基本的作り方 **6**~**11**と同様にして襟が仕上がったら、裏布側にホックを縫い付けて、できあがり。



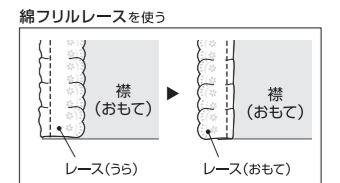
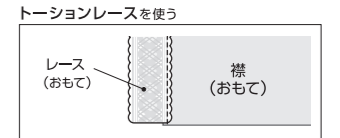
### 作り方 C. 一枚布で作る場合

- 基本的作り方 **1**・**2**と同様に、布の裏側に印を付けます。一枚布で仕上げるので、ぬいしろは付けずに描いた印に沿って布地を裁断します。(※「後ろ中心わ」の線は切りません。)

- 布端の処理をします。(布地がほつれてくる場合は、別売のクロバー「ほつれストップ液」などを布端に付けておきましょう。)

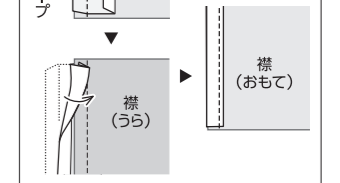
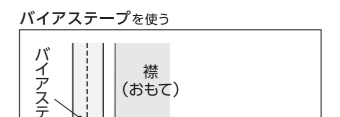
#### ●レーステープの場合

- トーションレースなど、レースの端の処理の必要のないものは、上から布端を隠すようにして縫い付けます。
- 綿フリルレースなど、レースの片端を処理する必要のあるものは、中表で縫い合わせてから、レースを表に折り返し、折り返したところを表から再度縫います。



#### ●バイアステープの場合 (ふちどりタイプ)

- 布端をバイアステープにはさみ込んで縫います。バイアステープでひもの代用をする場合は、襟のない部分のバイアステープは半分に折り、端を縫って仕上げましょう。



- リボンなどのひもを付ける場合は、テンプレートのマークに合わせて、裏側に縫い付けてください。



他の形のレシピもあわせてご覧ください!

▼商品に不都合な点がございましたら、クロバー(株)「お客様係」までお問合せください。  
**クロバー株式会社**  
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5  
「お客様係」TEL.(06)6978-2277

© 2022 CLOVER 082235

